

【事業名】	大規模スポーツイベントを契機とした トップスポーツチーム連携による交流・関係人口創出事業							
【船橋市まち・ひと・しごと総合戦略における基本目標】								
基本目標 2 行ってみたい魅力があふれるまち・船橋【魅力の創生】								
【事業の目的・概要】								
船橋市における大規模スポーツイベント「りそなグループ Bリーグオールスター 2025」の開催を起爆剤とし、多様なステークホルダーに本市をホームタウンとして活動するトップスポーツチームを地域資源として捉えてもらうとともに、新たに「船橋市プロスポーツ等連携推進委員会」を発足し、トップスポーツチームと連携した地域イベントやシティプロモーション等の取り組みを実施することで、新しい交流・関係人口を創出し、地域活性化・経済活性化に繋げていく。								
【事業実績額】	48,068,971 円	【交付額】	24,034,485 円					
【本事業における重要業績評価指標（KPI）】								
指 標 名	事業開始時点	1年目 R6(増加分)	2年目 R7(増加分)	3年目 R8(増加分)				
地域の人口・世帯数（人）	計画	647,037	1,850	1,500				
	実績		2,174	—				
市外から流入した滞在人口（人）	計画	100,526	1,000	1,000				
	実績		8,573	—				
船橋市プロスポーツ等連携推進委員会が実施する連携事業数（事業）	計画	0	8	1				
	実績		9	—				
【事業の実績・効果】								
<ul style="list-style-type: none"> B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2025 IN FUNABASHI 実行委員会の実施した事業 <ul style="list-style-type: none"> 大会当日 2 日間、試合会場周辺で開催した場外イベント事業、大会当日までの 10 日間で市内回遊を図るデジタルスタンプラリーなどのオールスター ウィーク事業、約 1 か月間、大会機運醸成を図るシティドレッシング事業を行った。 アリーナ周辺での場外イベントでは 2 日間で約 40,000 人が来場し、イベント関係の「ホームページ閲覧数」は、約 68,000 件、「公式 X 閲覧数」は約 347,000 件となり、地域の活性化や地域外からの認知・イメージ向上につながった。 総務省の「経済波及効果簡易計算ツール」を用いて、経済波及効果を計算した結果、「経済波及効果」の合計は、事業費約 3,300 万円に対し、約 2.5 倍の約 8,400 万円となり地域経済においても一定の効果があった。 船橋市プロスポーツ等連携推進委員会の実施した事業 <ul style="list-style-type: none"> 大型商業施設でのパブリックビューイングやまちなかの装飾により市民をはじめ、多くの方がチームを認知し、身近に感じることができ、チームへの応援機運や愛着度が高まったと考えている。 委員会に関する活動の「ホームページ閲覧数」は、約 5,300 件、「公式 X 閲覧数」は約 570,000 件となり、地域の活性化や地域外からの認知・イメージ向上につながった。 								
【課題】								
<ul style="list-style-type: none"> 「市外から流入した滞在人口」については、令和 6 年より新たに開業した LaLa arena TOKYO-BAY への来場者数の影響が大きいと考えられるため、令和 7 年以降も継続して増加していくよう、引き続きチームと連携し、より効果的な事業実施を検討していく。 船橋市プロスポーツ等連携推進委員会による取り組みについて、より詳細に効果分析を行うとともに、さらに効果的な事業を創出するため、イベントの参加者等にアンケート調査を実施する。 								
【評価】								
<ul style="list-style-type: none"> いずれの KPI も実績が計画値を上回り、本事業の実施により新しい交流・関係人口の創出、地域活性化・経済活性化に寄与できたと評価できる。 								